

平成28年度版

生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

大和市環境管理センター
収集業務課 資源循環担当

目次

I. アンケート実施概要	1
II. アンケート結果概要	2
1. 補助制度について	2
(1) 補助制度の周知等について	2
(2) 補助率・補助金額について	2
(3) 補助制度の効果について	2
2. 機器について	4
(1) 機器の購入と補助制度について	4
(2) 機器を利用している世帯数と年齢層について	4
(3) 機器の利用年数について	4
(4) 機器の利用状況について	4
3. 個別の質問について	5
(1) 機器から出る二オイ・音について	5
(2) 堆肥（生成物）について	5
III. アンケート結果分析	6
1. 機器の利用と減容率の関係	6
2. 機器の利用と機種タイプの関係	7
3. 機器の二オイや音と再購入について	9
4. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について	10
5. 電動式生ごみ処理機によるごみの減容量について	11
IV. 各設問ごと結果	12
V. 自由記入欄一覧	22
1. 補助制度について	22
2. 機器の使用について	23
3. 生成物について	23
4. 補助制度の周知について	23
5. その他	24
資料 アンケート様式	25

I. アンケート実施概要

本アンケートは、生ごみ処理容器等設置費補助金制度利用者に対し、機器の利用状況、処理物の活用方法及び制度に対する満足度等を調査し、今後の資源化施策及び補助金制度の検討資料とするものです。

- 調査期間 平成28年12月1日～12月28日
- 調査対象者 平成23年度及び平成27年度の、個人の電動式生ごみ処理機購入補助利用者全員（159人）。
- 調査方法 郵送調査、無記名方式
- 調査内容
 - ・使用者について（世帯人数、主な利用者の年代）
 - ・使用機種について（処理方式、購入動機、購入先）
 - ・使用状況について（利用頻度、生ごみ処理量、減量効果）
 - ・生成物について（生成物の活用方法、拠点回収場所の利用）
 - ・制度について（周知方法、補助率・限度額等への満足度や意見）
- 回答者数 81人
- 回答率 52%

Ⅱ. アンケート結果概要

ここでは調査結果の概要について報告します。各設問の詳細な結果については、「Ⅳ. 各設問ごと結果」及び「Ⅴ. 自由意見一覧」をご参照ください。

1. 補助制度について

(1) 補助制度の周知等について

- 補助制度を知った方法については、「広報やまと」が一番多く43人でした。その他の市の媒体では、「市ホームページ」が20人、「資源とごみのパンフレット（市配布）」が4人という結果でした。
- 一方で、「販売店等の宣伝」が13人、「口コミ」が11人と、市の周知以外で補助制度を知ったという方も多くみられました。

また、補助制度の周知に関して、自由意見欄にて「生ごみ処理機の体験会など多く実施すれば、より多くの人を知ることができると思う」というアイデアをいただきました。

(2) 補助率・補助金額について

- 補助率について「その他」と回答した方は81人中2人、補助金額について「不満」と回答した方は81人中2人でした。
- 「お手持ちの電動式生ごみ処理機の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか」という質問に対し、一番多かった回答は「現在の補助金額（率）なら購入すると思うが、補助金額（率）が下がったら購入しないと思う」の42%でした。

本市の電動式生ごみ処理機の補助「補助率75%、補助上限金額50,000円」は、補助率は綾瀬市の90%に次いで県内2位、補助金額も大磯町の60,000円に次いで県内2位となっています。これは全国的に見ても高いです（平成27年度JEMA調べ。詳細は次ページ）。

補助率・補助金額に関して、本体価格についてだけではなく「処理機のメンテナンス等の制度があると良い」という意見をいただきました。また「補助率にはとても満足していますが、各自治体で補助があるためか処理機の定価が高く設定されているように思います」「補助制度があるためか他の家電に比べ値引き販売が少ないように思える」という意見もありました。

(3) 補助制度の効果について

- 補助制度を知ってごみの減量化、資源化への関心が「非常に高まった」「高まった」との回答は85%ありました。

※参考 J E M A の調査結果について

J E M A（日本電機工業会）では家電製品について様々な情報を公表しており、家庭用電気生ごみ処理機の助成金についても調査結果が公表されています。

1. 県内各自治体における、家庭用電気生ごみ処理機の補助金額と補助率の一覧

【県内各自治体の補助金額（上限）】

自治体名	補助金額
大磯町	60,000
大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	50,000
鎌倉市・秦野市	40,000
藤沢市	35,000
相模原市・横須賀市・平塚市・逗子市 伊勢原市・葉山町・寒川町・松田町 箱根町・愛川町・清川村	30,000
茅ヶ崎市	25,000
川崎市・二宮町・山北町 開成町・真鶴町・湯河原町	20,000
横浜市	10,000

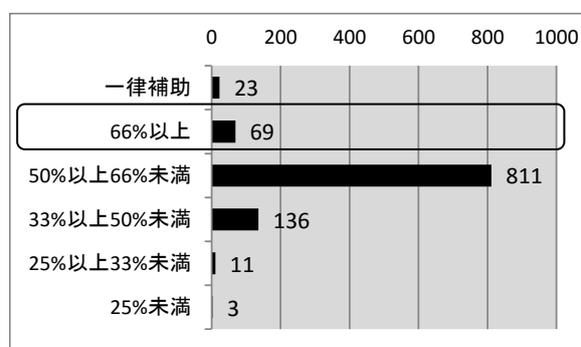
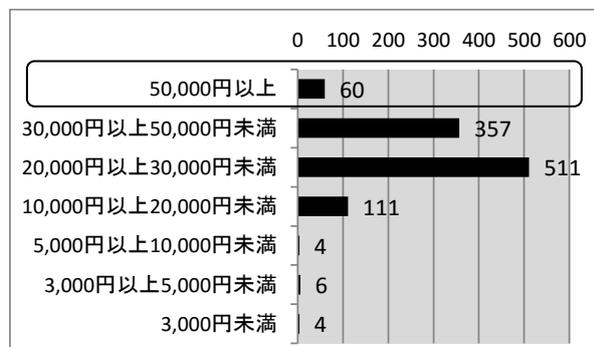
【県内各自治体の補助率（上限）】

自治体名	補助率
綾瀬市	9/10
大和市・鎌倉市・藤沢市・海老名市 座間市・大磯町・二宮町	3/4
逗子市・葉山町	2/3
横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市 平塚市・茅ヶ崎市・秦野市・伊勢原市 寒川町・松田町・山北町・開成町・箱根町 真鶴町・湯河原町・愛川町・清川村	1/2

【補助を実施していない自治体】

小田原市・三浦市・厚木市
南足柄市・中井町・大井町

2. 全国各自治体における、家庭用電気生ごみ処理機の補助金額と補助率



上表の通り、補助率75%、補助上限金額50,000円という本市の補助内容は、全国的にも高いことがわかります（表中の囲み部分が本市該当部分）。

2. 機器について

(1) 機器の購入と補助制度について

- ・電動式生ごみ処理機を購入した動機（複数回答）について「補助制度があるため」を挙げた方は46人で、「ごみを減量化したい」を挙げた68人に次いで多くいました。
- ・「補助制度が無くても電動式生ごみ処理機を購入しましたか」という設問に「購入していない」と回答した方は一番多く、49%いました。

また、補助制度に関して、自由意見欄にて、

- ・ゴミの減量化・資源化の意識が非常に高まり友人にもススメました
- ・生ゴミが資源になることは害虫予防にもなるし、環境に良いと思う
- ・再度補助制度を利用した。継続希望します。

といった声をいただいています。

(2) 機器を利用している世帯数と年齢層について

- ・機器を利用している世帯数は「3人」が37%で最も多く、続いて「2人」が28%、「4人」が25%となっており、2～4人世帯が全体の約90%を占めました。
- ・主に使用している年齢層は「60歳以上」が35%と最も多く、続いて「40代」が26%、「30代」が17%という結果でした。
- ・世帯数と年齢層の関係については、60歳以上では「2人世帯」「3人世帯」が多く、40代では「3人世帯」「4人世帯」が多いという結果でした。

(3) 機器の利用年数について

- ・継続して機器を使用している年数は、「(約7～8年)以上」と回答した方が35%で最も多くいました。
- ・一方で、2番目に多かったのは「約1～2年」の30%でした。

(4) 機器の利用状況について

- ・機器の利用状況は、「毎日」「週に1、2回」と回答した方が全体の94%を占めました。
- ・今回は、「使っていない」「故障して使えない」と回答した方はいませんでした。
- ・1回ごとの処理量については、「200g～300g」未満が最も多く、次いで「100g～200g未満」で、両者を合わせると全体の67%を占めました。
- ・減容量については、「約1/4」が42%で最も多く、「約1/2」が22%、「約1/3」が21%でした。「その他」においても「ほとんどゼロ」「1/10以上」など、用意した選択肢以上に減容しているという意見が多くありました。

機器を利用するメリットとして、自由意見欄にて以下のような意見がありました。

- ・生ゴミのにおいやコバエに悩まされずに済み、ゴミの量もかなり減りました。
- ・カラスの害がなくなりとても満足しています。
- ・生ごみの悪臭や不衛生の除去、カラス・猫対策等環境保全に大いに役立っている。

デメリットについての意見は特にありませんでした。

3. 個別の質問について

(1) 機器から出るニオイ・音について

- ニオイについて「気になる」「多少気になる」と回答した方は23%でした。また、音について「気になる」「多少気になる」と回答した方は16%でした。
- ニオイと音について比べると、「ほとんど（まったく）臭わない」という回答は23%でしたが、「ほとんど（まったく）音がしない」という回答は9%にとどまりました。

個別の回答として、「雨季の時期は大変臭う」という意見がある一方、「動作途中でふたを開けると多少気になるが、それ以外はほとんど気にならない」「外に置くので気にならない」という意見もありました。

(2) 堆肥（生成物）について

- 生成された生成物の利用・処理方法については、生成された生成物の利用・処理方法については、家庭菜園や花壇、プランター等での肥料として利用している方が最も多く、合わせて42人いました。一方で、ごみとして排出している方も41人いました。
- 生成物を資源の拠点回収場所に出すことができることについて、56%の方が「知らない」と回答しました。

生成物の処理方法については、「増えないので一度も取り出したことがない」や「宅配野菜業者に引き取ってもらっている」といった回答もありました。

Ⅲ. アンケート結果分析

ここでは、複数の設問の関係性から見た分析結果について報告します。

1. 機器の利用と減容率の関係

機器の利用頻度と減容率の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

		減容率				計
		約1 / 2	約1 / 3	約1 / 4	その他	
利用頻度	毎日	16.3%	11.2%	30.0%	10.0%	67.5%
	週に1、2回	6.3%	6.3%	13.8%	0.0%	26.4%
	月に1、2回	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.2%
	年に数回	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	使っていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	壊れて使えない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	1.2%	3.7%	4.9%
	計	22.6%	17.5%	46.2%	13.7%	100.0%

【機器の利用頻度と減容率の関係について】

機器の利用は「毎日」「週に1、2回」の順に多く、その方々の減容率は「約1 / 4」「約1 / 2」の順に多くいました。

2. 機器の利用と機種タイプの関係

機種タイプごとに、利用頻度との相関を見ました。

なお、今回のアンケートでは、機器の利用について「現在使っていない」「壊れて使えない」という方はいませんでした（P. 16参照）。

		利用頻度							計
		現在も使っている					現在は使っていない		
		毎日	週1、2回	月1、2回	年数回	その他	使っていない	壊れて使えない	
機種 タイプ	乾燥式	67.1%	27.1%	1.5%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
		100.0%					0.0%		100.0%
	バイオ式	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		100.0%					0.0%		100.0%
	ハイブリッド式	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		100.0%					0.0%		100.0%

【機器の利用頻度と機種タイプの関係について】

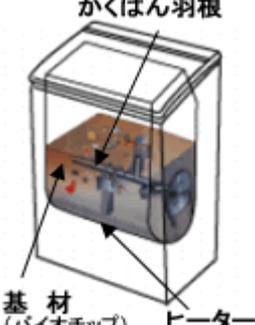
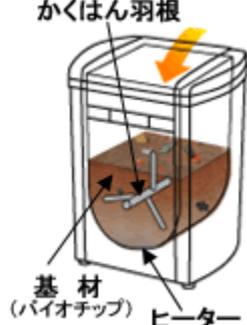
基本的に、どの機種も「毎日」「週1、2回」という回答が多くありました。

※参考 電動式生ごみ処理機の3つのタイプについて

電動式生ごみ処理機は、大きく3つのタイプに分類されます。

それぞれのタイプの特徴は以下の通りです。

なお、長所・短所の項目は「乾燥式⇔バイオ式・ハイブリット式」の比較となっています。

	乾燥式	バイオ式	ハイブリット式
原理	生ごみの水分を飛ばすことで減容化する。	基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。	生ごみの水分を飛ばして微生物が活動しやすい環境を整えた上で、基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。
減容能力	約 $\frac{1}{7}$ に減容	約 $\frac{1}{10}$ に減容	約 $\frac{1}{10}$ に減容
長所	<ul style="list-style-type: none"> • 本体が比較的コンパクトな形にできる • 手間がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> • 減容化能力が高い • 堆肥が生成できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 減容化能力が高い • 堆肥が生成できる
短所	<ul style="list-style-type: none"> • 電気代がかかる • 堆肥は生成できない 	<ul style="list-style-type: none"> • 微生物の環境を整えるのが難しい • 基材の代金がかかる • 水分量調節のための木材チップ等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> • 微生物の環境を整えるのが難しい • 基材の代金がかかる
主な構造			

【電動式生ごみ処理機の種類と構造】

3. 機器のニオイや音と再購入について

電動式生ごみ処理機やコンポストは思ったよりニオイや音がするので期待外れだった、というご意見をいただくことがあります。そこで、現在機器を使用している方の状況を調べてみました。

下表は、機器のニオイや音と、再購入についての関係をまとめたものです。

ここでは、回答の「ほとんど（まったく）しない」「多少するが気にならない」「多少して気になる」「かなりして気になる」の順に深刻度が高くなっていくと考え、ニオイと音のどちらか深刻度が高い方の数値を採用しています。例えば「多少ニオイがするが気にならない」と「多少音がして気になる」という回答をした場合は「多少して気になる」にカウントしています。

		購入5年経過後もう一度電動生ごみ処理機を購入するか					
		購補 入助 すが なく ても	購補 入助 すが あ れ ば	購補 入助 し が な い け れ ば	購補 入助 し が あ い っ て も	そ の 他	計
ニ オ イ ・ 音 は す る か	しない	2	1	1	0	0	4
	多少するが気にならない	9	13	17	2	6	47
	かなりするが気にならない	2	5	10	0	1	18
	多少して気になる	1	1	3	0	1	6
	かなりして気になる	1	2	1	0	0	4
	計	15	22	32	2	8	79

【電動式生ごみ処理機の種類と構造】

「補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う」と回答した方は2人でしたが、どちらの方も「多少気にするが気にならない」と回答しており、「多少して気になる」「かなりして気になる」と回答した方はいませんでした（表中の網掛け部分）。

また、ニオイや音が「多少して気になる」「かなりして気になる」と回答した人が、「購入5年経過後もう一度電動式生ごみ処理機を購入するか」という質問にどのように回答したか（表中の太枠囲み部分）を見ると、「補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う」が2人、「補助金額（率）が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う」が3人、「現在の補助金額（率）なら購入すると思うが、補助金額（率）が下がったら購入しないと思う」が4人という結果でした。

4. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について

「補助制度がない場合の購入」と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

		補助制度が無くても購入していたか			
		購入していた	購入していない	わからない	計
関心	非常に高まった	4	9	5	18
	高まった	9	25	17	51
	変わらない	7	5	0	12
	低くなった	0	0	0	0
	計	20	39	22	81

【補助制度がない場合の購入と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係について】

全ての方が、補助制度を知って、ごみの減量化・資源化への関心が「非常に高まった」「高まった」「変わらない」と回答しています。

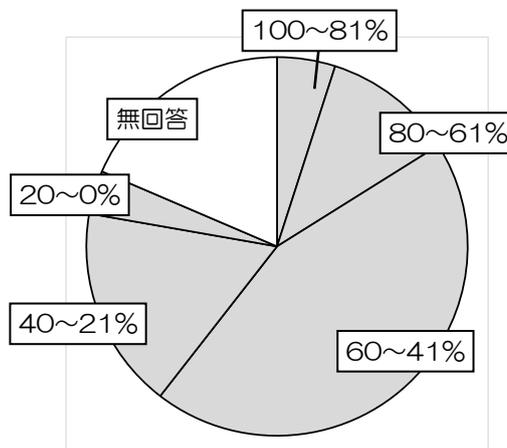
また、補助制度がなければ機器を購入していないと回答した方のうち、一番多い25人の方が「ごみの減量化・資源化への関心が高まった」と回答しています。

5. 電動式生ごみ処理機によるごみの減容量について

「電動式生ごみ処理機を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか」という設問とは別に、電動式生ごみ処理機を1週間使用した場合、有料指定ごみ袋の使用がどれくらい減るのかについても調査しました。

下表及び円グラフは、袋の使用枚数を容量に変換し、更に減容率の傾向をまとめたものです。

減容率	回答数
100～81%	4
80～61%	9
60～41%	36
40～21%	14
20～0%	3
無回答	15



【電動式生ごみ処理機によるごみの減容量について】

ごみがゼロになった（減容率100%）という人も、ごみ量は変わらない（減容率0%）という人もいましたが、「60～41%」を中心に、ほぼ正規分布になっています。

また、回帰分析という手法で回答を分析したところ、下記のようにモデル化できました。

$$\text{使用後のごみ容量} = (\text{使用前のごみ容量} \times 0.47) + 1.31$$

このモデルによれば、電動式生ごみ処理機を1週間使用した場合、40リットルのごみは、

$$(40 \times 0.47) + 1.31 = 20.11 \text{リットル}$$

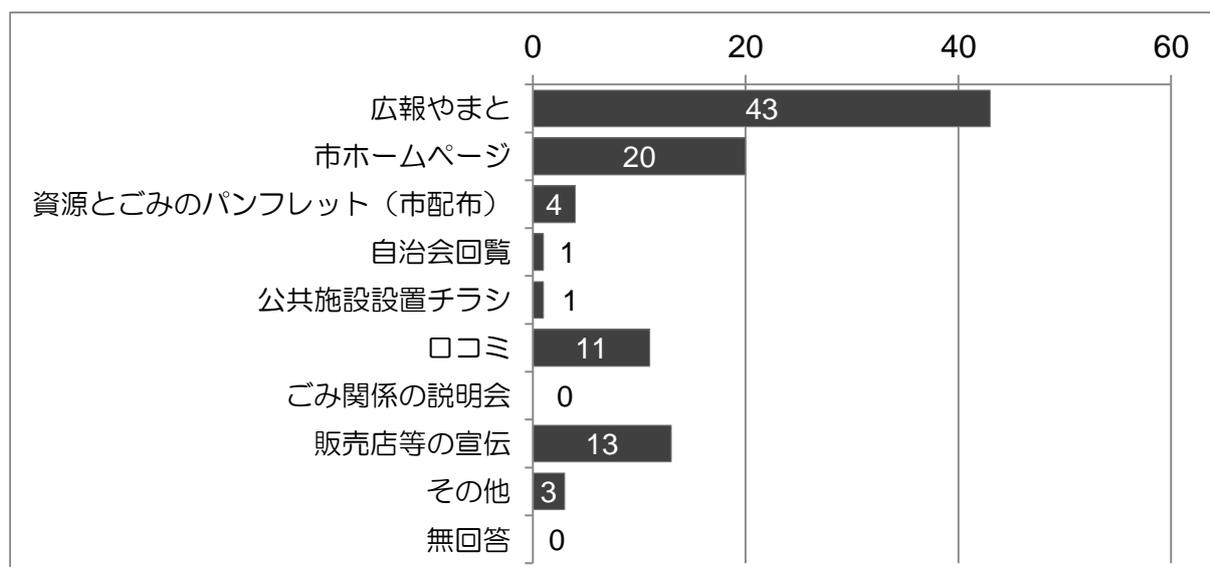
20.11リットルにまで減容化できることになります。

IV. 各設問ごとと結果

ここでは、実施したアンケートの設問ごとの結果についてまとめました。

「電動式生ごみ処理機」については「機器」と略しています。また、「その他」等を選択していただいた場合の自由記入回答は欄外にまとめてあります。なお、その際、同様の回答についてはまとめさせていただきます（例：「2日に1回」と「1日おき」）。

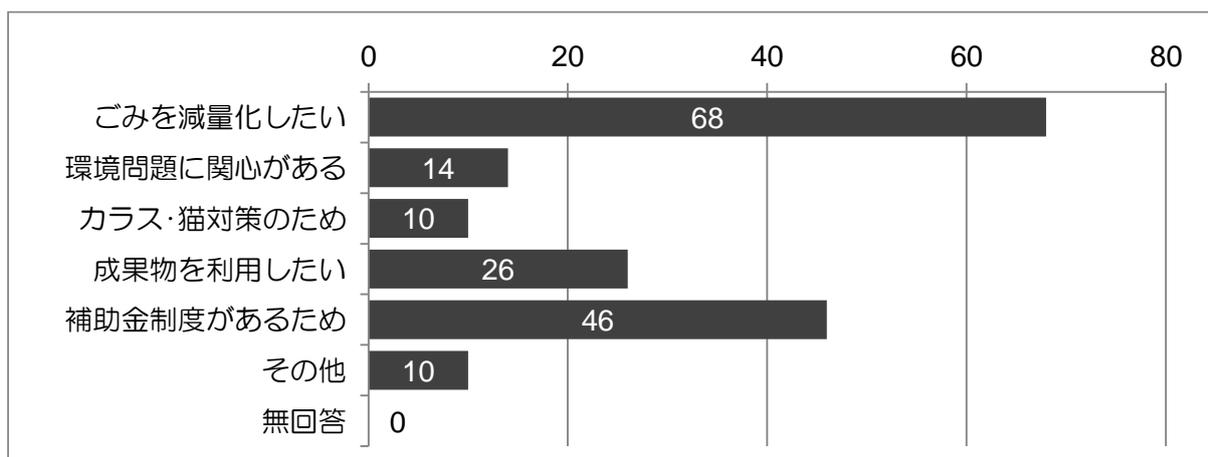
1. 補助制度を、どのような方法で知りましたか



▼その他

- ・TV番組から
- ・以前購入した際に知っていた。その際は販売店にて
- ・生ゴミ処理機をネット検索した時補助制度があると書いてあった

2. 機器を購入しようと思ったきっかけは、どのような理由からですか

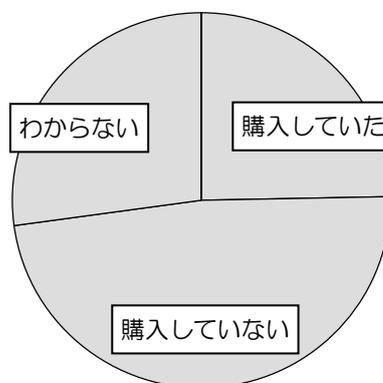


▼その他

- ・生ゴミの臭いがしないように（6人）
- ・コバエ対策（4人）
- ・生ゴミを出した後仕事で留守をする場合、出したその後の処置が心配だったため
- ・有料ごみ袋の利用を少なくしたい

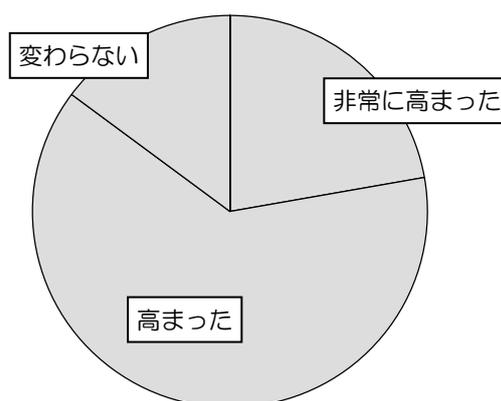
3. 補助制度が無くても機器を購入していたと思いますか

	回答
購入していた	20
購入していない	39
わからない	22
無回答	0
計	81



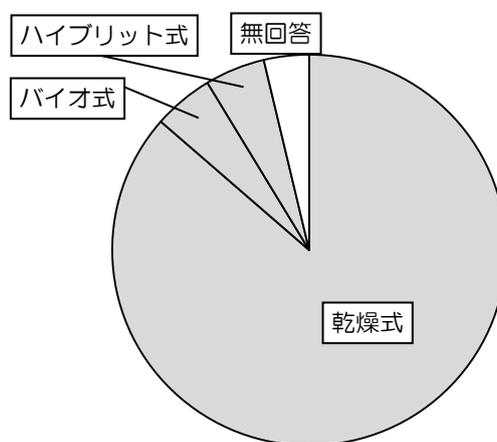
4. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

	回答
非常に高まった	18
高まった	51
変わらない	12
低くなった	0
無回答	0
計	81



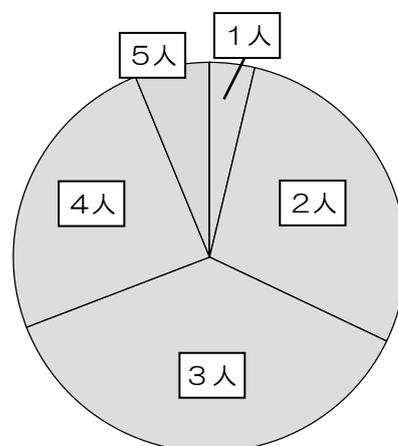
5. 購入された機器のタイプはどれですか

	回答
乾燥式	70
バイオ式	4
ハイブリット式	4
無回答	3
計	81



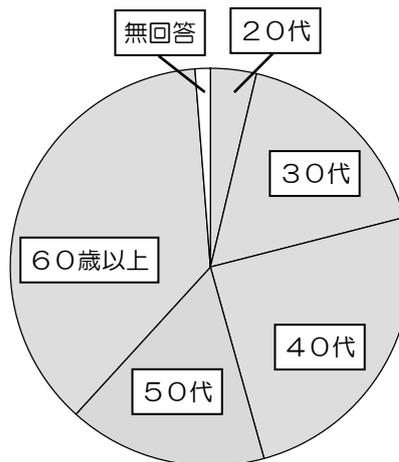
6. 利用している世帯人数を教えてください

	回答
1人	3
2人	23
3人	30
4人	20
5人	5
6人以上	0
無回答	0
計	81



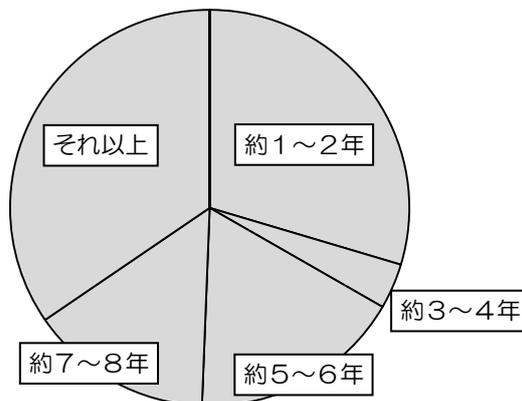
7. 主に利用されている方の年齢層を教えてください

	回答
10代	0
20代	3
30代	14
40代	20
50代	13
60歳以上	30
無回答	1
計	81



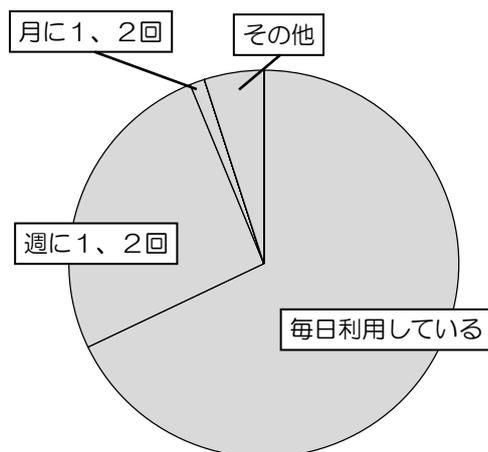
8. 現在まで、機器をどれくらい続けて使用していますか

	回答
約1～2年	24
約3～4年	3
約5～6年	14
約7～8年	12
それ以上	28
無回答	0
計	81



9. 機器の利用頻度はどのくらいですか

	回答
毎日利用している	55
週に1、2回	21
月に1、2回	1
年に数回	0
使っていない	0
壊れて使えない	0
その他	4
無回答	0
計	81

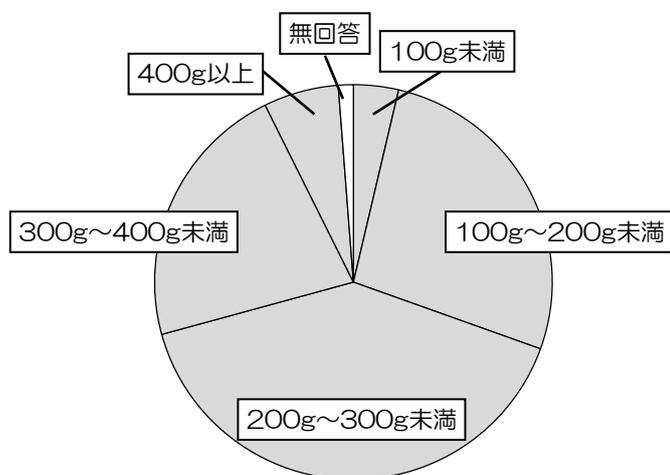


▼その他

- ・週に2、3回
- ・週に3、4回
- ・夏は毎日、秋冬は臭うゴミがあった時や、旅行などの前、年末年始に使う

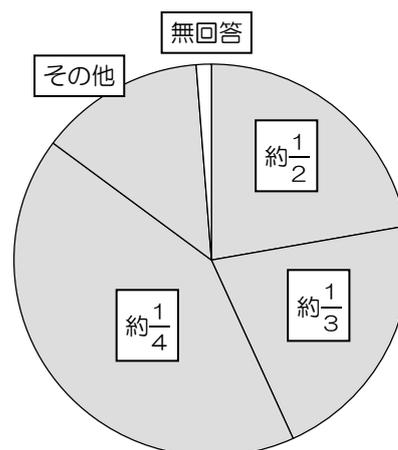
10. 現在は、機器で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

	回答
100g未満	3
100g～200g未満	22
200g～300g未満	33
300g～400g未満	17
400g以上	5
無回答	1
計	81



11. 機器を使用してから生ごみの量はどのくらい減ったと思いますか

	回答
約1/2	18
約1/3	17
約1/4	34
その他	11
無回答	1
計	81



▼その他

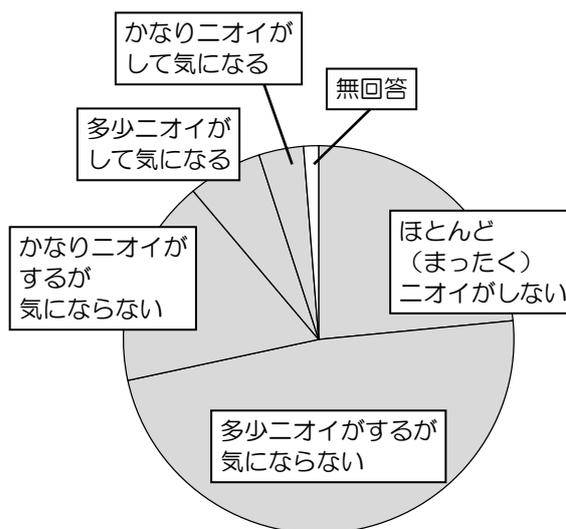
- ・生ゴミは100%減った（4人）
- ・1/10（2人）
- ・1/5（2人）
- ・約1/4以上
- ・夏は激減、他は微減
- ・ずっと使用しているので前後の差がわからない

12. 機器を1週間利用して、使用前と使用後の状況を教えてください

使用前	使用后	回答	使用前	使用后	回答
10ℓ1袋	5ℓ1袋	2	40ℓ1袋	5ℓ2袋	1
	10ℓ1袋	2		20ℓ1袋	4
5ℓ2袋	5ℓ1袋	1		30ℓ1袋	2
10ℓ1袋と5ℓ1袋	10ℓ2袋	1		20ℓ1袋と10ℓ1袋	1
20ℓ1袋	ゼロ	1	20ℓ2袋	10ℓ1袋	1
	5ℓ1袋	1		10ℓ1袋と5ℓ1袋	1
	10ℓ1袋	11		10ℓ2袋	4
	5ℓ2袋	1	40ℓ1袋と20ℓ1袋	20ℓ1袋と10ℓ1袋	1
10ℓ1袋と5ℓ2袋	5ℓ2袋	1	30ℓ2袋	10ℓ2袋	1
10ℓ2袋	10ℓ1袋	3		30ℓ1袋と10ℓ1袋と5ℓ1袋	1
	5ℓ2袋	2	40ℓ1袋と30ℓ1袋	30ℓ1袋と10ℓ1袋	1
	10ℓ1袋と5ℓ1袋	1	40ℓ2袋	5ℓ2袋	1
30ℓ1袋	5ℓ1袋	1		20ℓ2袋	1
	10ℓ1袋	3	20ℓ4袋	20ℓ3袋	1
	20ℓ1袋	7	30ℓ3袋	20ℓ2袋	1
20ℓ1袋と10ℓ1袋	10ℓ1袋と5ℓ1袋	2	計	66	
	10ℓ2袋	1			
10ℓ3袋	5ℓ1袋	1			
	10ℓ1袋	1			
	5ℓ3袋	1			

13. 機器から出るニオイはどうですか

	回答
ほとんど（まったく）ニオイがしない	19
多少ニオイがするが気にならない	39
かなりニオイがするが気にならない	14
多少ニオイがして気になる	5
かなりニオイがして気になる	3
無回答	1
計	81

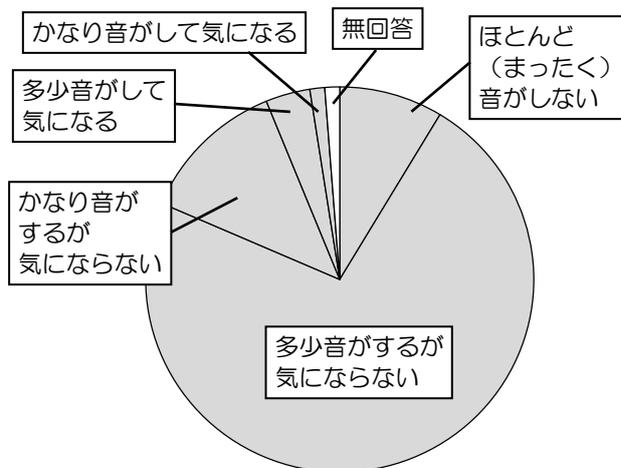


▼その他

- ・外に設置のためよくわからない
- ・外に置くので気にならない
- ・雨季の時期は大変臭う
- ・動作途中でふたを開けると多少気になるがほとんど気にならない

14. 機器から出る音はどうですか

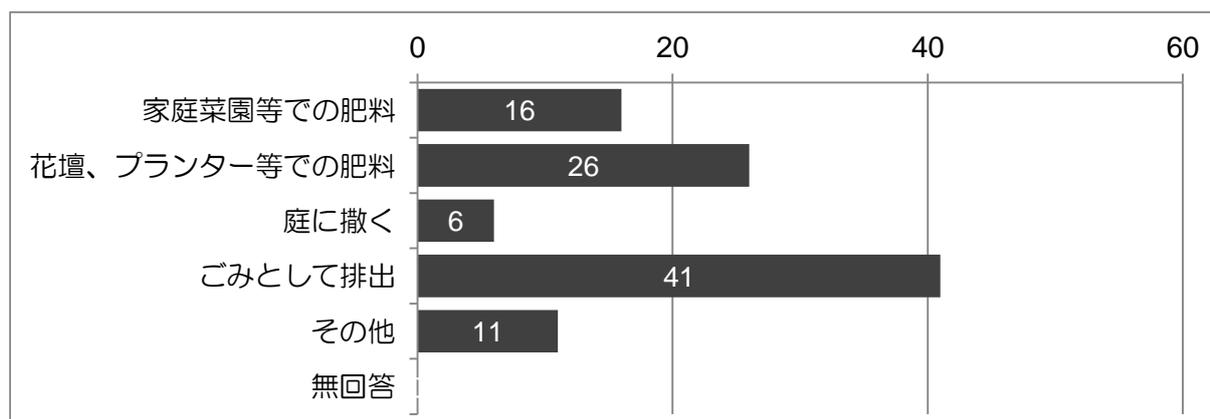
	回答
ほとんど（まったく）音がしない	7
多少音がするが気にならない	59
かなり音がするが気にならない	10
多少音がして気になる	3
かなり音がして気になる	1
無回答	1
計	81



▼その他

- ・外なので気にならない

15. 機器で処理したあとの生成物どのように利用又は処理していますか

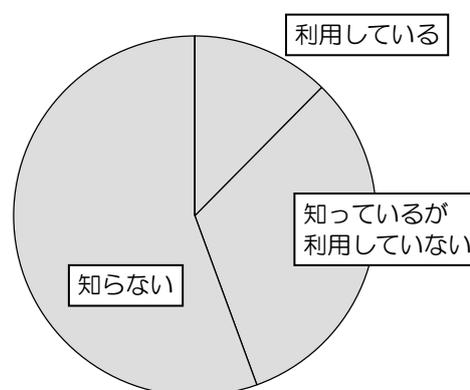


▼その他

- ・資源回収に出す（6人）
- ・宅配野菜業者に引き取ってもらっている
- ・ふえないので一度も取り出したことがない
- ・友人へ

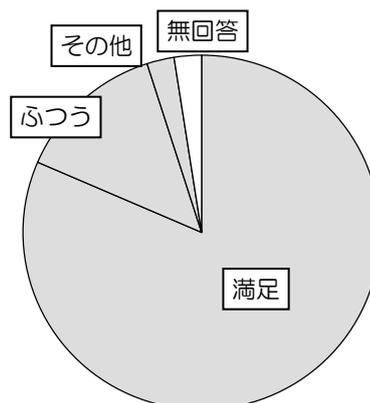
16. 生成された生ごみ堆肥を資源の拠点回収で回収していることを知っていますか

	回答
利用している	10
知っているが利用していない	26
知らない	45
無回答	0
計	81



17. 機器の補助率についてどう思いましたか

	回答
満足	66
ふつう	11
その他	2
無回答	2
計	81

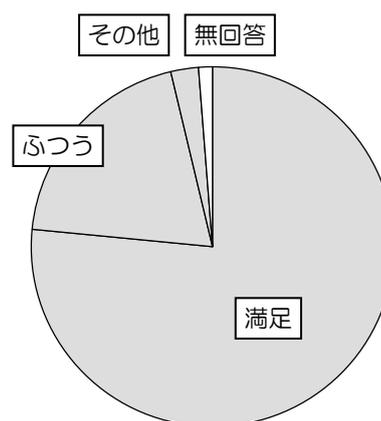


▼何%ならいいですか

- ・100%
- ・85～90%

18. 機器の補助金交付額についてどう思いましたか

	回答
満足	62
ふつう	16
その他	2
無回答	1
計	81

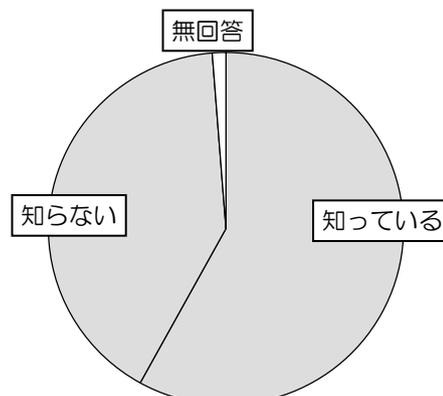


▼いくらならいいですか

- ・10万円程度
- ・6～7万円

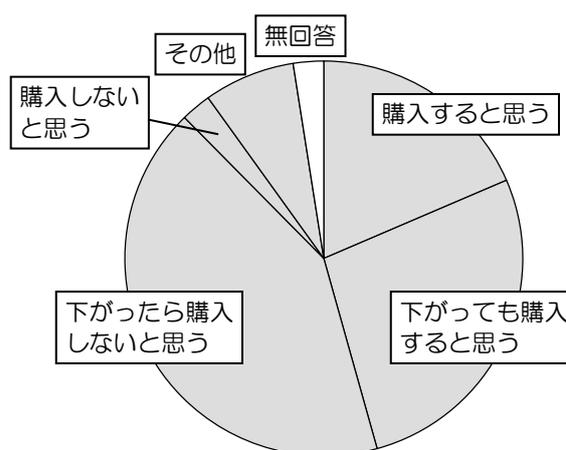
19. 機器購入5年経過後は再度補助制度が利用できることを知っていますか

	回答
知っている	47
知らない	33
無回答	1
計	81



20. お手持ちの機器の購入後5年が経過した場合、もう一度機器を購入しますか

	回答
購入すると思う	15
下がっても購入すると思う	22
下がったら購入しないと思う	34
購入しないと思う	2
その他	6
無回答	2
計	81



▼その他

- 壊れたら購入する（4人）
- 5年が経過したので購入申請した（2人）
- 臭いがすごいので考える

V. 自由記入欄一覧

ここでは、いただいた自由意見についてまとめました。

基本的には記入していただいた内容をそのまま記載していますが、以下の編集を行いました。

- ・誤字等は修正しました。
- ・機種名等の固有名詞が記載されているものについては、その部分のみ修正しました。
- ・複数のカテゴリにまたがっているものについては、文を分けました。

1. 補助制度について

- ・ゴミの減量化・資源化の意識が非常に高まり友人にもススメました。
- ・こんなに良いんだから（年末のゴミの収集がお休みの時とか真夏の生ごみがにおう時）買って良かったなーって思います。使っていない人はこの良さを知らないんだ……残念だなーって……。
- ・良い制度で利用させてもらったが、やはり5年位でだめになるので、また購入したい。
- ・大満足です。これからも期待しています。
- ・このような補助制度があるためか他の家電に比べ値引き販売が少ないように思える。しかし、補助金が無ければ高価な品で、買う気になれない。
- ・今の生ゴミ処理機の性能（臭いの軽減）がもっと良くなれば、補助金が減っても買いなおすかもしれない。ほとんど競争のない状態で作られているので。
- ・補助率75%にはとても満足していますが、各自治体で生ごみ処理機の補助があるためか処理機のメーカーの定価が高く設定されているように思います。なぜ、あの機械に5万円近くかかるのか不思議です。補助金がなければ買おうとは思いません。
- ・生ごみ処理機を使用するにあたり、購入後も電気代等で費用がかかるので、補助率を上げれば購入家庭が増えて、ごみの減量になってよいと思う。
- ・補助制度、既に2度利用させてもらってます。ありがとうございます。
- ・生ゴミ処理機を利用して10年になります。友達にもお勧めし購入（補助金制度利用）した人もいます。
- ・補助金制度がなくなったり率が下がると経済的な理由から購入を考えることになると思います。是非補助金制度は続けていただけたらと思います。
- ・素晴らしい制度だと思います。私が購入したものは1台8万円もするので、補助がないとなかなか購入に踏みきれない。
- ・再度補助金制度利用した。継続希望します。
- ・補助制度はとても魅力的で、たくさんの家庭に1台あるというふうに利用出来ればいいと思います。生ゴミが資源になることは害虫予防にもなるし、環境に良いと思うからです。土に帰すということも素敵です。ずっと使いたいです。
- ・補助金があって本当に助かった。古いものが壊れた時買い替えをしづっていたが、補助金率が大変よくびっくりして即購入できた。
- ・補助制度がなくなったら購入したくても高額なものなので、あきらめるしかないという感じですよ。
- ・生ごみ処理機は20年以上使っています。補助金ももらえるし、これからもずっと利用していきたいと思っています。
- ・生ごみ処理機は便利ですが、高価なので補助がなければ購入に踏み切れなかったと思います。
- ・本当に良い制度だと思います。買って良かった家電(?) No.1です。
- ・補助制度が使えるのであれば、次回も利用したい。

- ・補助制度を利用して良かったと思っています。ありがとうございました。

2. 機器の使用について

- ・冬はともかく夏場の生ゴミを（熱乾燥）できるので良かったと思う。
- ・生ごみの悪臭や不衛生の除去、カラス・猫対策等環境保全に大いに役立っていると思います。当宅は電化上手（東電の制度）の契約をしており夜間電力料金の恩恵にあずかっている事も特記されます。
- ・容器が2つあるので生椎茸等を乾燥したりしている。
- ・年齢で食べる物も少なくなると思われますので購入しないと思います。
- ・特に夏場のゴミの臭いにおいては収集日（週2回）が待ち切れず冷凍したりして捨てていましたので、とても助かるしもう手放せません。
- ・生ゴミを自宅で処理できるとゴミ袋をカラスにつつかれる心配もなく安心していられます。最近カラスが来なくなりました。
- ・屋外に置いて隣地の共同住宅に住んでいる方にも利用してもらっています（堆肥を利用したいので）。
- ・補助金制度を利用したのにごみ処理機を利用していない人もいます。
- ・人数は、2人になり、お弁当を利用のため、昨年からは生ごみ処理機のしようをしていない。
- ・今まで特に夏場の生ごみに来るコバエが気になっていましたが、生ごみ処理機を利用し始め、全く気にならなくなりました。生ごみが多かったのですが、とても減量し大変満足しています。本当に助かりました。もっとみなさんも使ったら良いのにな、と思います。
- ・生ゴミのにおいやコバエに悩まされずに済み、ゴミの量もかなり減りました。
- ・処理機対象のゴミは、天然物ですが、ティーパックとかコーヒーフィルターとか天然と人工と混ぜたものが多々あります。そのために少量でも生ゴミとして集荷に出すこともあります。
- ・生ゴミの量が減るだけでなく、家庭内での処理（二オイ・水分）の対策にもなるため、大変助かっています。
- ・カラスの害がなくなりとても満足しています。においや音が気になるため深夜の稼働にしているので、稼働している部屋に行かなければ気にならないため、タイマーがあるのはとてもうれしいです。これからも補助をよろしくお願いします。
- ・カラス被害が減ったこと、生ゴミの量が減ったこと。ごみ量の関心が高まったことがとても良かったです。

3. 生成物について

- ・資源の拠点回収場所の情報が見つからなかったので教えてください。
- ・コーヒーかす、野菜クズ、皮、すべての生ゴミは庭に再利用している。ほんの少しの土に帰しているが、わたしはお花にごちそうしている気持ちです。
- ・うちでは生ごみ処理機でできた堆肥を畑で使用しています。とてもありがたく思っています。
- ・生ゴミを畑の肥料にすることで、ゴミを出す量が減り、また肥料にするまでの時間と場所を減らすことができました。

4. 補助制度の周知について

- ・補助金制度はとても助かります。ただ今後、忙しい人が増えることや、高齢者世帯が増えることを考えた時、制度を利用する人が今に比べて減るのではと思います（家で作らない。たまに作る人が増え生ゴミがでない）そうなった時の廃止になる可能性があるのが不安です。やはり

細く長く環境について考えながらアピールしていった欲しいと思います。

- 市民の認知度が低いと思う
- まだまだ知らない人もいます。夏は特に生ゴミが気にならないと知人には知らせています。
- もっとこういう制度を広く知れ渡るようにし、また、生ゴミ処理機の良い面をつたえれば購入者が増え、ゴミが減ると思います。このような制度は大変助かります。ありがとうございます。
- 息子夫婦も使っていますが、まだまだ使用している人は少ないです。わたしのまわりで使っている人はいないので、もっと広報とかに多く知らせてはいかがでしょうか（補助金制度知らない人が多いです）。
- 生ゴミ処理機の体験会など多く実施すれば、より多くの人を知ることができると思います。

5. その他

- 購入後5年近く至り買ったところが店をやめてしまっているのが故障・バクテリアの補充等で困っている。市に相談に行ったが、補助金は扱っているが購入後のことは感知してないとの事で困っている。
- 処理機で処理できる品目を拡大してほしい。機器の処理能力を上げてほしい。
- 処理機のメンテナンス等の制度があると良い。
- 何年前前にもアンケート出したのですが、再度来たのは一部制度が変わったからですか？
- 購入した日を忘れていたので、5年を過ぎた時に通知があると良い。
- 生ゴミがカラスのエサになっている光景をよく見かける。ゴミ袋自体の改良や網かけの励行が必要ではないか。

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート（27年度申請）

該当する番号に○をつけてください

両面のおもて

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で
知りましたか（複数回答可）

- ①. 広報やまと ②. 市ホームページ ③. 資源とごみのパンフレット（市配布） ④. 自治会回覧
⑤. 公共施設設置チラシ ⑥. ロコミ ⑦. ごみ関係の説明会 ⑧. 販売店等の宣伝
⑨. その他（ ）

問2. 電動式生ごみ処理機を購入した動機は、どのような理由からですか（複数回答可）

- ①. ごみを減量化したい ②. 環境問題に関心がある ③. カラス・猫対策のため
④. 成果物（堆肥）を利用したい ⑤. 補助金制度があるため
⑥. その他（ ）

問3. 補助制度が無くても電動式生ごみ処理機を購入しましたか

- ①. 購入していた ②. 購入していない ③. わからない

問4. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の意識は高まりましたか

- ①. 非常に高まった ②. 高まった ③. 変わらない ④. 低くなった

問5. 購入された電動式生ごみ処理機はどのタイプですか

- ①. 乾燥式 ②. バイオ式 ③. ハイブリッド式（送風乾燥+バイオ処理）

問6. 利用している世帯人数を教えてください。

- ①. 1人 ②. 2人 ③. 3人 ④. 4人 ⑤. 5人 ⑥. 6人以上

問7. 主に利用されている方の年齢層を教えてください。

- ①. 10代 ②. 20代 ③. 30代 ④. 40代 ⑤. 50代 ⑥. 60歳以上

問8. 現在まで、電動式生ごみ処理機をどれくらい続けて使用していますか

（補助制度ではなく実際に使用を続けている年数です。また、昔使っていて最近また使い始めた場合は、最近の期間だけを回答ください）

- ①. 約1～2年 ②. 約3～4年 ③. 約5～6年 ④. 約7～8年 ⑤. それ以上

問9. 電動式生ごみ処理機の利用頻度はどのくらいですか

- ①. 毎日利用している ②. 週に1、2回 ③. 月に1、2回 ④. 年に数回
⑤. 使っていない ⑥. 故障して使えない ⑦. その他（ ）

問10. 電動式生ごみ処理機で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

- ①. 100g未満 ②. 100g～200g未満 ③. 200g～300g未満 ④. 300g～400g未満
⑤. 400g以上

問11. 電動式生ごみ処理機を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか

- ①. 約1/2 ②. 約1/3 ③. 約1/4 ④. その他（ ）

問12. 電動式生ごみ処理機を1週間利用した場合の、有料指定ごみ袋の使用前と使用後の状況を教えてください

（記入例 使用前 400袋1袋 → 使用後 300袋1袋と50袋1枚）
（使用前 → 使用後 ）

【裏面に続きます】

問 1 3. 電動式生ごみ処理機から出る臭いはどうですか

- ①. ほとんど（まったく）臭わない
- ②. 多少臭うが気にならない
- ③. 多少臭いが気になる
- ④. かなり臭いが気になる
- ⑤. その他（ ）

問 1 4. 電動式生ごみ処理機から出る音はどうですか

- ①. ほとんど（まったく）音がしない
- ②. 多少音がするが気にならない
- ③. 多少音がして気になる
- ④. かなり音が気になる
- ⑤. その他（ ）

問 1 5. 電動式生ごみ処理機で処理したあとの生成物（堆肥・乾燥物）はどのように利用又は処理していますか

- ①. 家庭菜園等での肥料
- ②. 花壇、プランター等での肥料
- ③. 庭に撒く
- ④. 燃やせるごみに出す
- ⑤. その他（ ）

問 1 6. 生成物（堆肥・乾燥物）を資源の拠点回収場所に出せることを知っていますか

- ①. 利用している
- ②. 知っているが利用していない
- ③. 知らない（この設問で知った）

問 1 7. 電動式生ごみ処理機の補助率（75%）についてどう思いましたか

- ①. 満足
- ②. ふつう
- ③. その他（ ）%が妥当

問 1 8. 電動式生ごみ処理機の補助金交付額（上限50,000円）についてどう思いましたか

- ①. 満足
- ②. ふつう
- ③. その他（ ）円程度が妥当

問 1 9. 補助制度は、制度利用後5年を経過すると再度利用できる（電動式生ごみ処理機を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます）ことを知っていますか

- ①. 知っている
- ②. 知らない（この設問で知った）

問 2 0. お手持ちの電動式生ごみ処理機の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか

- ①. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
- ②. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
- ③. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
- ④. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
- ⑤. その他（ ）

自由記入欄

電動式生ごみ処理機の補助制度や事業全体について、ご意見や感想などがあればご記入ください

ご協力ありがとうございました

平成28年度版
生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

発行 大和市
平成29年3月
編集 大和市環境管理センター 収集業務課
〒242-0026 大和市草柳3-12-1
電話 046-269-7343